平成26年
12月14日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙選挙公報

栃木県第４区

栃木県選挙管理委員会

自由民主党 比例区も自民党へ

「地域」が創る 日本の力

自由民主党
さとう 勉（つとむ）

昭和27年6月20日生（62歳）

さとう勉の提言 未来への「4本柱」

1『経　済』

●デフレからの脱却を確実なものにし、**経済再生と財政健全化を両立**するため、消費税率10％への引き上げは2017年4月に行います。**同時に軽減税率の導入を目指し、対処品目等の具体的な検討**を早急に進めます。

●「地域経済」活性化のための融資制度の拡充や、地域の特性を活かした産業振興を図り、新たな雇用を創出します。

2『農　業』

●農業・農村が果たしている多面的機能の発揮を促進するため、法制化された**「日本型直接支払い制度」を着実に推進**します。

●集落・地域での徹底した話し合い（人・農地プランの展開）、担い手への**農地集積・耕作放棄地の発生防止・解消**、基盤整備等による**生産現場（担い手、農地等）の強化**を進めます。

3『地域力』

●**地域の創意工夫を生かした若者等の雇用の場の創出・人材育成**や、人手不足分野での魅力ある職場づくりを推進します。

●各地域独自の魅力を持つ**「地域資源」が持続的に発展・再生産される仕組みを構築**し、自律的に地域資源が磨き込まれ、**地域が潤う好循環（ローカル・アベノミクス）を実現**します。

●高齢者世代が若い世代の子育て支援を行うための環境整備に向け、**「イクジイ・イクバア支援」**を行うとともに、**三世代同居世帯への支援策**を講じます。

4『あんしん』

●「国土強靭化法」に基づき**事前防災・減災、老朽化対策を強力に推進**するとともに、インフラの耐震化等の国土の強靭化を推進します。

●幼児教育の無償化、高校生奨学給付金、経済的に就学困難な専門学校生への支援、大学等奨学金事業の拡充等、**子供の貧困対策を財源を確保しつつ推進します。**

●年金、医療、介護などの社会保障政策は、**「自助」を基本とし、共助・公助がそれを補う、持続可能で安心な制度を確立します。**

プロフィール

●ニックネーム：べんちゃん　●生年月日：昭和27年6月20日生まれ　●血液型：B型
●性　格：まじめ・頑固　●家族構成：妻・長男・次男　●趣　味：車・ゴルフ・映画鑑賞

昭和27年　栃木県下都賀郡壬生町に生れる
昭和50年　日本大学工学部卒業
昭和62年　県議会議員選挙に初当選（3期連続当選）
平成8年　第41回衆議院議員総選挙初当選
平成12年　第42回衆議院議員総選挙当選（115,284票）
平成13年　厚生労働大臣政務官就任
平成15年　第43回衆議院議員総選挙当選（125,031票）
平成17年　第44回衆議院議員総選挙当選（140,304票）
平成18年　衆議院　総務委員長
平成19年　総務副大臣（第2次安倍内閣）1期2期
平成20年　自由民主党　副幹事長、
国務大臣　国家公安委員会委員長、内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策担当）防災担当、総務大臣
平成21年　第45回衆議院議員総選挙比例当選（109,287票）
平成22年　自民党国会対策委員長代理
平成23年　衆議院議院運営委員会筆頭理事
平成25年　**自民党国会対策委員長**

暴走政治ストップ！ 政治を変える

日本共産党
山崎としひこ（やまざき）

1952年10月29日生（62歳）

消費税増税、集団的自衛権、原発再稼働――民意を無視し暴走を続ける安倍政権に怒りと批判が大きく広がっています。

あなたの一票で暴走をストップさせ政治を変えるときです。日本共産党をのばせば政治は動きます。「政治を変えたい」との思いを、日本共産党と私、山崎としひこに託してください。

日本の政治の「5つの転換」を

財源
「消費税に頼らない別の道」を提案します
●富裕層と大企業への優遇をあらため「能力に応じた負担」の原則をつらぬく税制改革をすすめます。
●大企業の内部留保の一部を活用し、国民の所得を増やす経済改革で税収を増やします。

アベノミクス
「格差拡大」の暴走ストップ くらし第一で経済たてなおす
●人間らしく働ける雇用のルールをつくります。
●連続削減ストップ、暮らしを支える社会保障に。
●TPP交渉からの撤退、農林水産業、中小企業と地域経済を振興します。

集団的自衛権
「戦争する国」づくり許さない
憲法9条生かした平和外交を
●集団的自衛権の「閣議決定」撤回、秘密保護法の撤廃を求めます。
●9条の精神に立った平和の外交戦略で、北東アジアの平和と安定を築きます。

原発
再稼働ストップ「原発ゼロの日本」へ
●無謀な原発再稼働強行・原発輸出に反対します。
●再生可能エネルギーの大幅導入へ抜本的転換を。
●すべての原発被害者に国と東電の責任で必要な支援を。
●住民合意のない最終処分場計画は白紙撤回に。

沖縄基地
新基地建設は中止を
基地のない平和な島へ
●新基地建設ストップ、普天間基地の無条件撤去を。
●オスプレイ配備の撤回を要求し、オスプレイの全国展開に反対します。

●政策の詳細はホームページ　日本共産党　検索　http://www.jcp.or.jp/

山崎としひこ略歴
●1952年糸魚川市生まれ。新潟県立直江津工業高校卒。
●党南部地区委員長を経て現在、党県常任委員。

比例代表は 日本共産党 とお書きください

未来に責任を負う政党、それが日本共産党です

●綱領という未来への確かな羅針盤を持つ政党です
安倍政権の暴走に真正面から対決するだけでなく、国民の立場で建設的な提案ができるのも根本には、綱領の力があるからです。

●たしかな歴史を持つ党こそ、未来をひらく先頭に立てます
党をつくって92年。ひとすじに反戦平和をつらぬいてきた政党の存在意義にかけて、歴史を偽造する逆流や戦争への道は許しません。

●企業・団体献金禁止、政党助成金の廃止を
企業・団体献金も、政党助成金も受け取らず、財政も、一人ひとりの国民に支えられて活動する唯一の政党です。

消費税10%はキッパリ中止に　あなたの一票を山崎としひこと日本共産党へ

民主党 流れを変える37歳 藤岡隆雄（ふじおか たかお）

The Democratic Party of Japan

民主党公認
元金融庁課長補佐

民主党
藤岡隆雄（ふじおか たかお）

昭和52年3月28日生　37歳

私の基本政策

国会大改革

【国会議員のあり方はこれでいいのか?】
① **国会議員定数削減（将来的に衆議院定数は 475 から 300 へ）**
② 厳しい財政事情を勘案し、国会議員歳費３割カット
③ 政治家本人に政治資金面の責任が一義的に及ばない仕組みの見直し
④ 国会における役所への事実上の質問作成依頼の禁止
⑤ **衆議院の任期中に一度も質問しない、質問主意書も提出しないでも務まってしまう国会文化の改革**
⑥ 比例代表選出議員の離党時の議員失職の法制化

世界的な食糧争奪戦を見据えた農業の足腰強化

【所得倍増と言葉は踊るが、農家の所得は減る一方ではないのか?】
① **農業で生計を立てる農家に対する所得補償充実**
② 若者の新規参入と農家の後継者が生まれやすい環境の徹底整備
③ コメを含めた農産物輸出の障壁を取り除き、輸出環境の徹底整備

暮らしの安定

【2年間で暮らしは良くなったのか?】
① **ガソリンの暫定税率廃止でガソリン価格の 25.1 円値下げを目指す**
② 予算の見直し等を行い、消費税 10%への増税をギリギリまで回避
③ 働くことを軸とする安心社会の実現
④ **男女共に働くことができる環境の変化に対応した保育所環境充実や働く親の勤務体系の更なる柔軟化（子育て現役世代の目線で応援！）**
⑤ 介護職員の待遇改善など、地域の医療・介護体制拡充
⑥ 2030 年代に脱原発の実現を目指す
⑦ 1,000 兆円を超える国の借金を減らす（増税でなく予算の見直しから）
⑧ 国家公務員制度改革、挑戦者が溢れる経済成長戦略の推進

プロフィール

昭和52年３月28日生まれ（37歳）
【家　族】妻、長女（12月１日で３歳になったばかり）
【住まい】小山市在住
○大阪大学基礎工学部卒、大阪大学大学院中退
○元金融庁課長補佐（国家Ⅰ種経済）
　衆議院議員政策秘書
○前回衆議院議員選挙で49,021票（次点）
≪愛読書≫ 坂の上の雲、世に棲む日日
≪好きな歴史上の人物≫ 吉田松陰、二宮尊徳

藤岡隆雄 選挙事務所

小山事務所　〒323-0014 栃木県小山市喜沢 1324
TEL:0285-37-8214 FAX:0285-37-8215

真岡連絡所　〒321-4305 栃木県真岡市荒町 3-50-8
TEL:0285-81-3099 FAX:0285-82-2808

（この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版によって印刷したものです。）